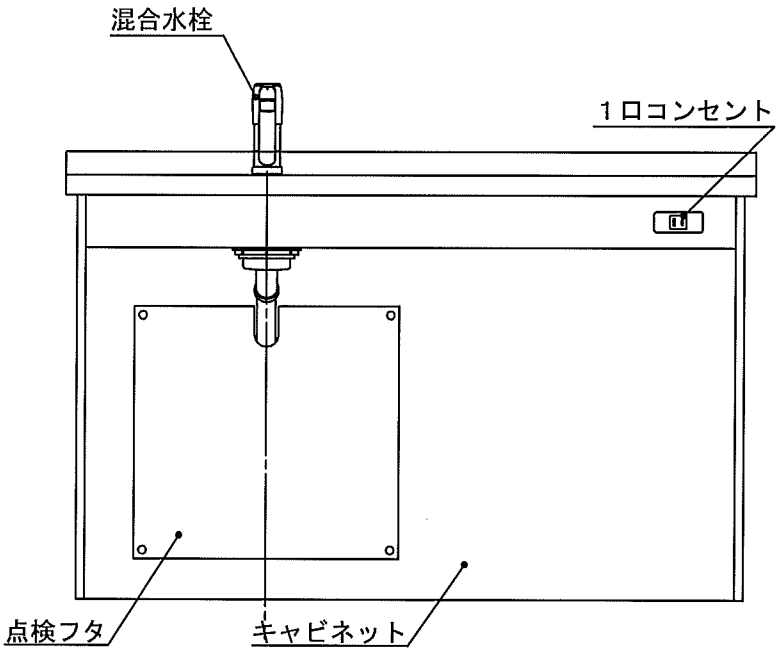
取付設置説明書

テーブル　キッチン

取付設置をされる方へのお願い

- ■ このテーブルキッチンを正しく安全にお使いいただくため、この取付設置説明書をよくお読みになってから指定された作業を行ってください。
- ■ 給排水工事・電気工事は、関連する法令・規則にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。
- ■ この取付設置説明書に記載されていない方法で設置され、それが原因で故障等が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- ■ キッチン及び、組込機器等の取扱説明書・保証書は、とりまとめて保管し、お引渡しの際、お客様にお渡しください。

各部の名称



安全に関するご注意

- ここに示した注意事項は、商品を正しく安全に設置・取付していただき、取付作業者及び商品を使用されるお客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。
- 誤った作業により生じる危害、損害の程度により次の二つに区分しています。

⚠ 警　告	作業を誤った場合に設置作業者又は、設置後の商品の不具合によって、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意	作業を誤った場合に設置作業者又は、設置後の商品の不具合によって、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置終了後、点検表にしたがって試運転及び各部の点検を行い、異常のないことを確めてください。

絵表示の意味について

禁止の行為であることを告げるものです。

行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠ 警　告

- 電気工事、水道工事は関連する法令、規則にしたがって、必ず『有資格者』が行ってください。

  接続や、固定が不十分な場合は、発煙や火災、水漏れの原因になります。

⚠ 注　意

- 商品の改造や仕様変更は行わないでください。

  事故の原因となるおそれがあります。

- 運搬中に製品をぶつけないでください。又、運搬は二人以上で行ってください。

  製品を周辺設備にぶつけると製品及び周辺設備が破損したり、傷が付き使用できなくなります。

- 設置終了後に扉の傾き、ガタつき、ヒンジのゆるみがないことを確認してください。

  使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

- キッチンに組み込まれる電気製品、その他機器については、それぞれの製品の取付設置説明書や本体の注意表示をご覧いただき、正しい設置を行ってください。

  据付け方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。

- 設置時に使用される溶剤、接着剤、洗剤、その他薬品類については、容器等に記載の注意表示 にしたがい正しくお使いください。

  誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、キッチンの損傷や劣化の原因になります。

- 設置後に梱包材を使用し、ワークトップに覆いをして、保護してください。

  物が落下して、ワークトップに傷が付く場合があります。

- 製品に乗ったり脚立などを立てないでください。

  キッチンが変形したり、落下してケガをするおそれがあります。

⚠ 注　意

● キッチンは水平で平滑な場所に設置して、壁面及び床にしっかりと固定してください。
　キッチンが転倒して、ケガをするおそれがあります。

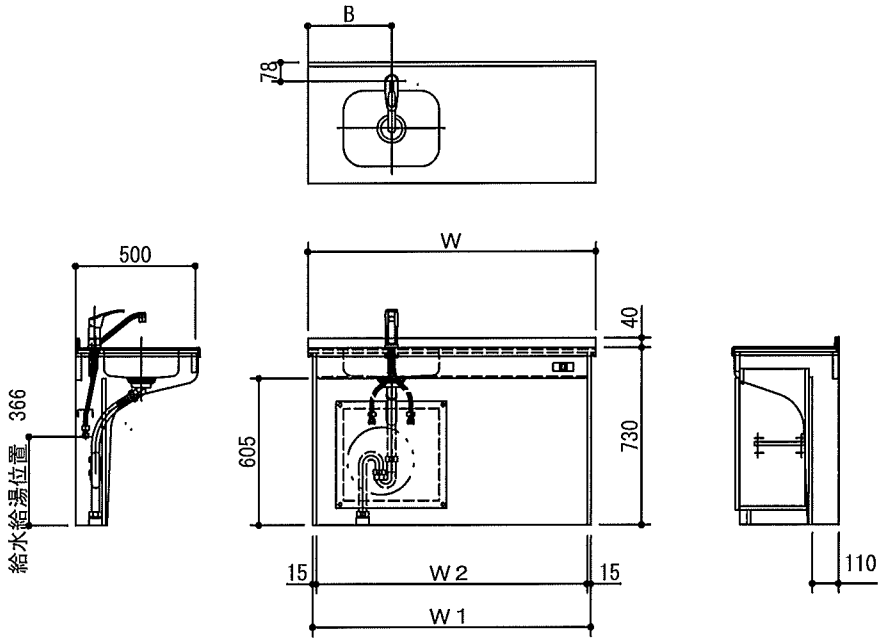
商品寸法　（単位：mm）

本図は左シンクです。右シンクは左右反対になります。

完成図面

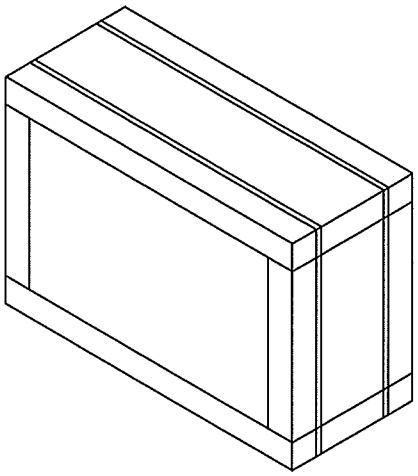
タイプ別寸法表

W寸法	W１寸法	W２寸法	B寸法
９００	８６０	８３０	２７０
１０５０	１０１０	９８０	３５０
１２００	１１６０	１１３０	３５０
１５００	１４６０	１４３０	３５０



梱包リスト

下記部品で構成されていますので数量をお確かめください。



共通部品

水栓箱 ── 混合水栓		1個
説明書セット	キッチン取扱説明書	1冊
	キッチン取付設置説明書	1冊
	床固定ビスセット	
	本体下部固定用Ｌ金具	2ヶ
	皿ﾓｸφ３．５Ｘ１４	6本
排水管セット ── Ｓ字管セット		1セット
取付ビスセット		
	皿モクφ３．８Ｘ５７	4本
	ビスキャップ座	4ヶ
	ビスキャップ（白）	4ヶ

オプション部品

ワゴン ──── 棚板		1枚
電気温水器付	ﾌﾚｷ管　L600X2	2本
	ニップル	2個
	電温カバー	1セット

設置に際して、下記の工具をご用意ください。

設置用工具

電動ドライバー・モンキースパナー・脚立・メジャー・カッターナイフ・ローラー（又は、ハンマー＋当て木）・ドリル・プラスドライバー・マイナスドライバー・水平器

設置準備

1．搬　入

- 建築工程の進み具合、通路、仮置き及び組立て場所の確保、部材のチェックをしてください。

2．墨出し

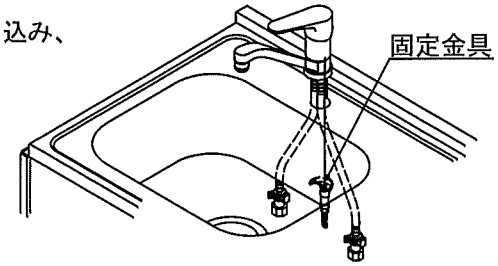
- 建築・設備を確認の上、墨出しをしてください。

3．組立て場所の設定

- 設置場所付近にて、組立て作業ができるように、水平な所を設定してください。

4．水栓の取付け

- 右図のように水栓の下部にあるボルトに固定金具を差し込み、固定金具を回して固定して下さい。



設　　置

水平でしっかりした床面に設置してください。
床面の若干の凹凸は薄い板等を敷いて調整してください。

1．設置場所へ移動

- キッチンの前面は、作業及び通行に十分なスペースを取ってください。
- 移動前に給水・排水位置及び、一次電源コードを確認してください。

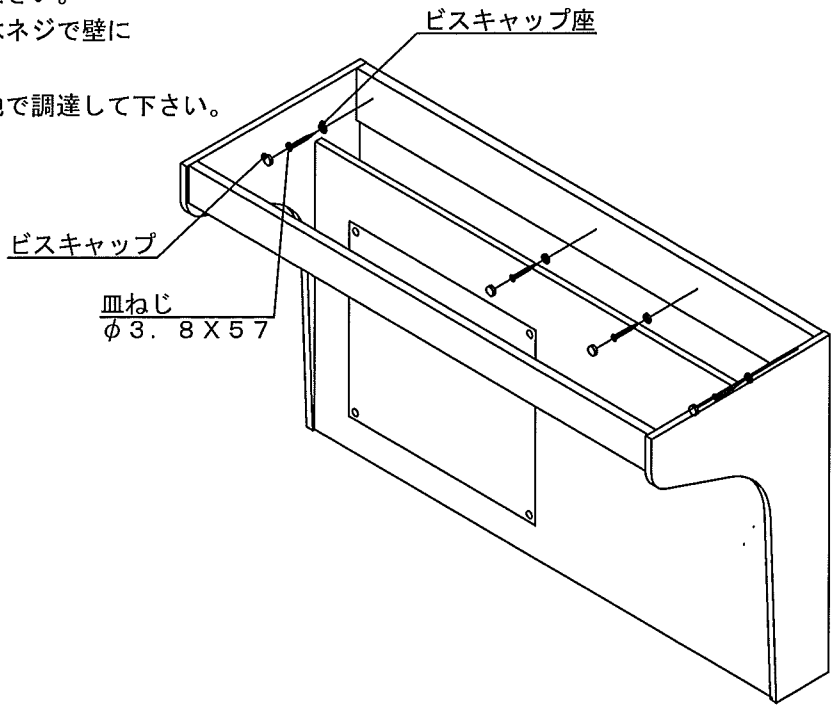
2．ユニットの固定

- 木ネジで壁面に固定してください。

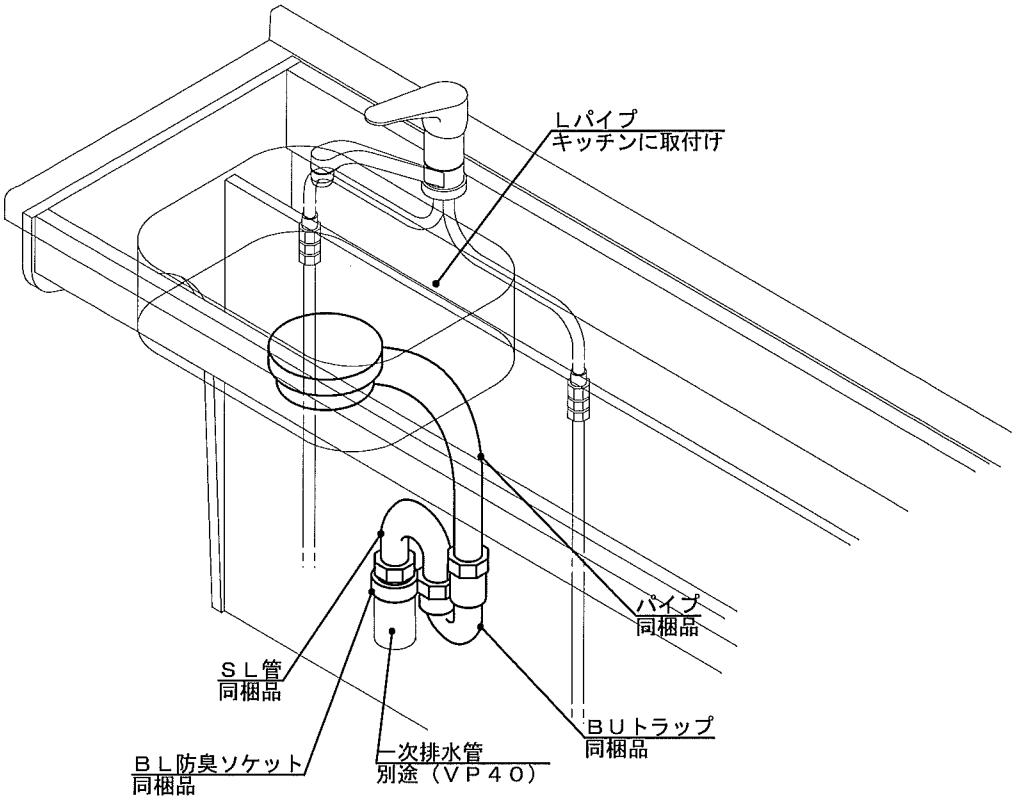
⚠ 注　意

キャビネットは、必ず壁面に固定してください。
・固定を行わないと、キャビネットが転倒して、
　ケガをするおそれがあります。

- 付属のビスで壁面に固定してください。
  キッチンの下穴へ座金を通した木ネジで壁に
  ４箇所固定してください。
  使用する木ネジが短いときは現地で調達して下さい。

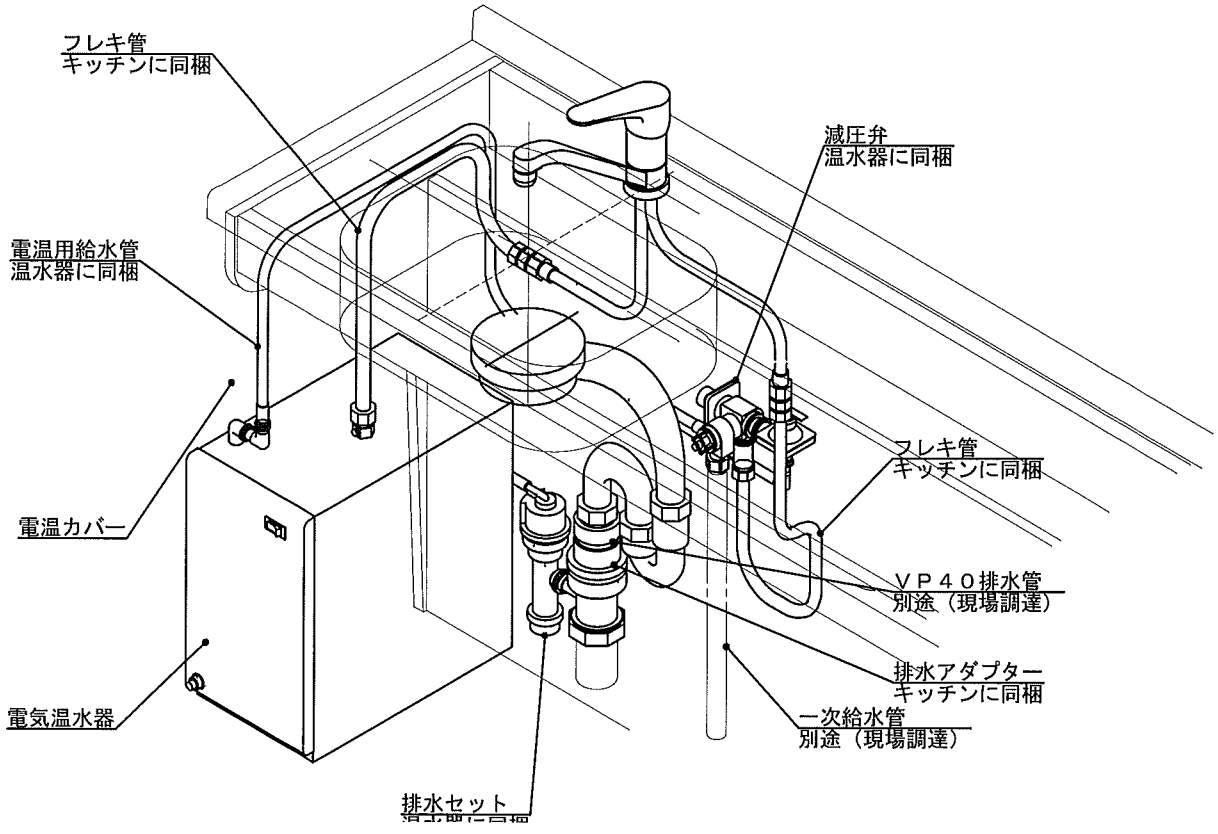


※正しく接続しないと、水漏れの原因となります。
※Ｓ字部は床に近い位置にしないと、排水能力が悪くなります。



電温仕様用配管

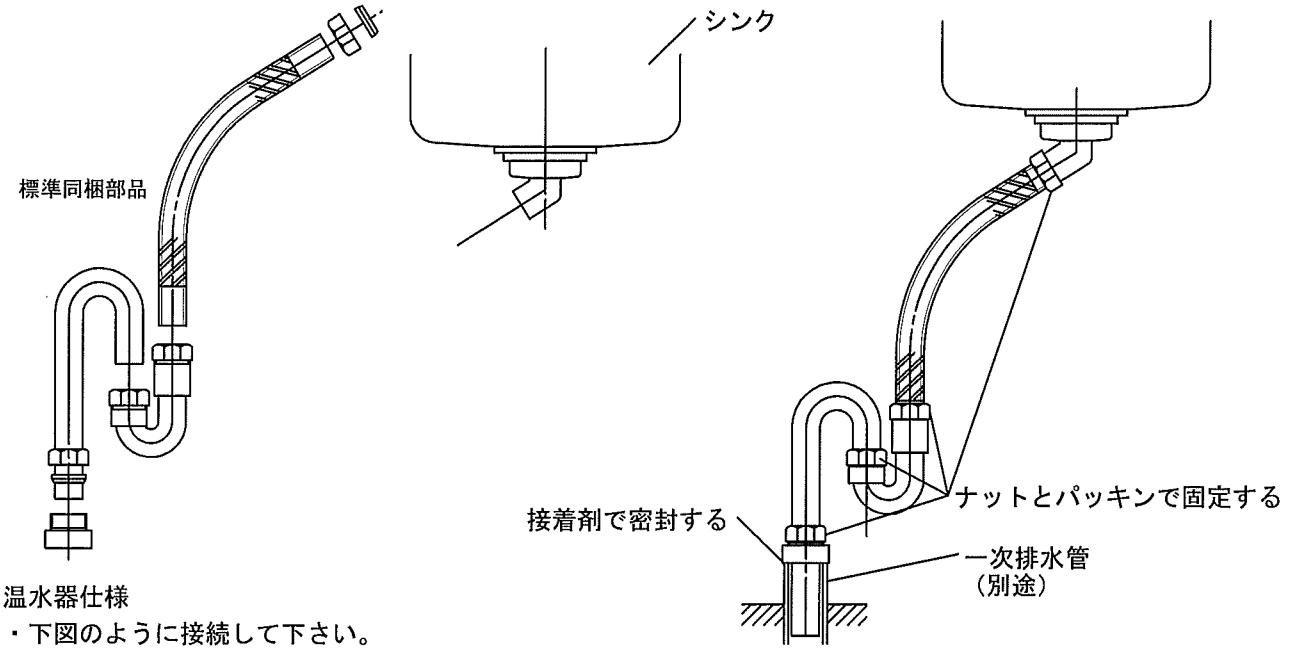
● 下図のように排水管を接続して下さい。



● 標準仕様

・下図のように接続して下さい。

※　接続部は緩みがないように密閉してください。

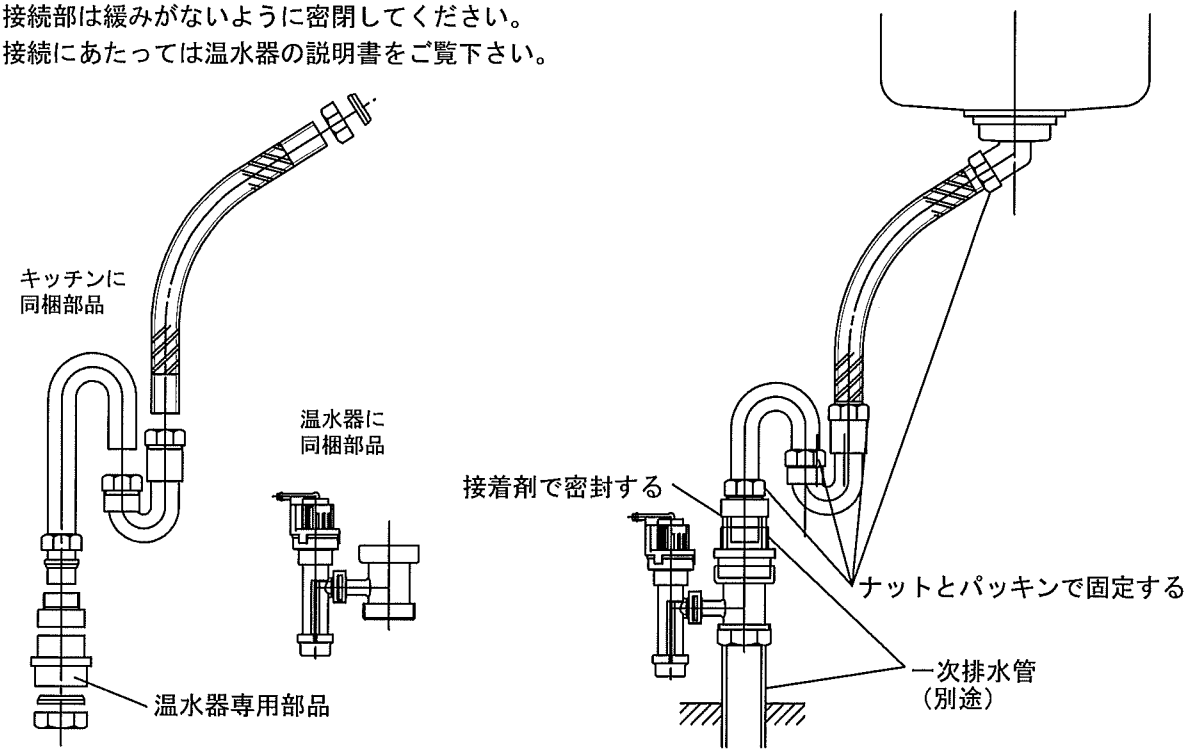


● 温水器仕様

・下図のように接続して下さい。

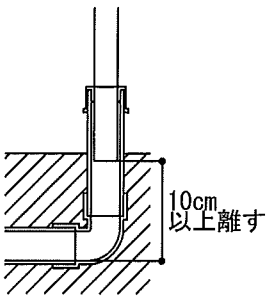
※　接続部は緩みがないように密閉してください。

※　接続にあたっては温水器の説明書をご覧下さい。



⚠ 注　意

● ＳＬ管は一次排水管の底に当てないでください。
排水能力が低下して、シンクから水があふれ、周囲を汚損するおそれがあります。ＳＬ管を適切な長さに切断してください。



4．電気接続工事

⚠ 警　告

● 電気工事は関連する法令・規則にしたがって、必ず『有資格者』が行なってください。

・　接続や固定が不完全な場合は火災の原因になるおそれがあります。

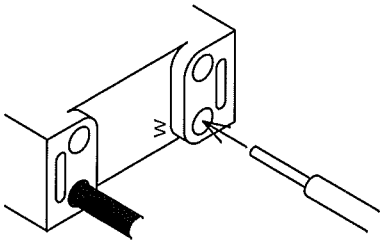
① ヒーター無しタイプ

幕板のコンセントの電源コードの接続

コードの被服を１３㎜剥き、コンセントの右側の穴（W）に白い被服のコードを差し込む。

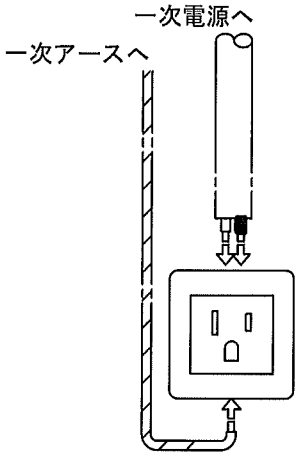
コンセントの左側の穴に黒い被服のコードを差し込む。

差し込みが不十分ですと火災の恐れがあります。



② ヒーター仕様及び電気温水器仕様

コンセントに一次電源コードを下図のように接続してください。



5．ビルトイン機器の取付け

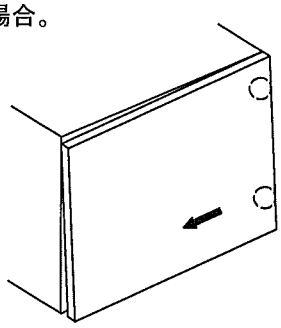
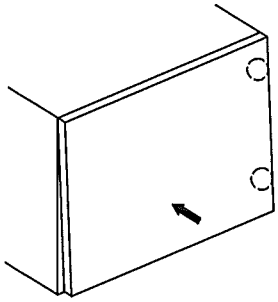
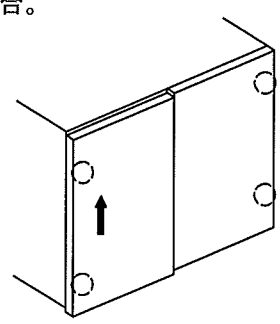
● ビルトイン機器がある場合は、機器に添付されている取付設置説明書にしたがい、正しく設置してください。

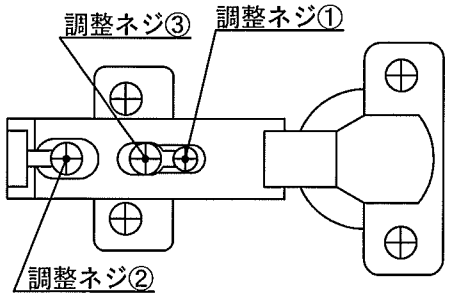
6．清掃・チェック

● 給水栓を開いて水を出し、配管部（排水トラップ・排水管）に水漏れがないか確認してください。
※ 給水・給湯の配管内に砂やゴミなどがたまっている場合がよくあります。
水栓の弁にゴミがはさまり、水栓に水漏れがおきないように吐水口の整流器を外し、全開放水してゴミなどを洗い流してください。

● 扉やキャビネットなどに汚れがついている時は、柔らかい布かスポンジに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。
※ シンナー・ベンジンなどは商品をいためますから、使用しないでください。

● 扉間の段差や隙間の不揃いがある時は、下図のようにヒンジを調整してください。

扉の傾き調整	扉のうき（隙間）調整	扉の段差調整
図の様に扉が左下に傾いてしまった場合。	図の様に扉と本体の隙間が上下で異なってしまった場合。	図の様に左の扉が下がってしまった場合。
		
下側丁番の調整ネジ①を回して扉が矢印の方向に寄る様に調整してください。 調整後、必ず調整ネジ②を締付けて丁番を固定してください。	下側丁番の調整ネジ②をゆるめ下の丁番を奥にスライドさせて隙間を合わせてください。 調整後、必ず調整ネジ②を締付けて丁番を固定してください。	上下の丁番の調整ネジ③をゆるめ丁番を上にスライドさせて段差を合わせてください。 調整後、必ず調整ネジ③を締付けて丁番を固定してください。



※ 注意 関連機器の点検・整備はその機器の設置説明書に従い、点検・整備してください。

7．設置後の処理

本商品の設置後、ワークトップに傷やダコンが付く可能性があります。
商品の梱包材を使用して、ワークトップを養生してください。
商品には、取扱説明書が同梱してあります。
注意事項・お手入れ方法などを十分ご説明の上、お施主様又は、工事責任者様にお渡しください。

設置完了後

本表は、設置後に行う点検表です。本表にしたがってチェックしてください。

	チェック
1．商品に傷や割れはないか？	
2．扉間に段差や隙間の不揃いはないか？	
3．配管部に水漏れはないか？	
4．器具の取付けは行ったか？	
5．スイッチは正しく作動するか？	
6．コーキングが必要な箇所にシリコンでシーリングを行ったか？	